



スペシャルオリンピックス(SO)は、知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。活動を通して彼らの自立と社会参加を促進し、生活の質を豊かにすることを目的に活動しています。また、SOではこれらのスポーツ活動に参加する知的障害のある人たちを「アスリート」と呼んでいます。



2018年地区大会・水泳競技会

ご挨拶

NPO法人

スペシャルオリンピックス日本・岩手

理事長 平野 ユキ子

「日頃のトレーニングの成果発表」

今年は、全国大会(ナショナルゲーム=NG)開催の年です。翌年の国際大会(ワールドゲーム=WG)に向けてその代表選手選考を兼ねて開催される、4年に一度の大きな大会です。今年の開催地は愛知県でした。岩手から5人のアスリートが出場し、それぞれが日頃の練習の成果を発揮して立派な成績を収めてまいりました。詳しい報告は内容をご覧ください。

SOで一番大切なことは目を見張る記録や強さを競うことではありません。各々がハンデに負けない精神を鍛え、自分を克服する事なのです。と、SOの創始者ユニス・ケネディ・シュライバーが述べている通り、参加者は、みんながそれぞれ、ハンデを乗り越え立派に成果を発揮した大会でした。

岩手の参加者も参加する前より、それぞれがひとまわりもふた回りも大きくなったと感じました。そして参加したアスリートやファミリーは、SOの素晴らしさが更にわかったと思います。SON・岩手の皆さんもこれから4年間、次の大会に向けて更に一生懸命励みましょう。そしてオリンピックと同じように今度は冬季大会もあります。これは2年後に札幌でNGが開催されます。これからウィンタースポーツのシーズンです。札幌での大会参加に向けて日々練習に励んで参りましょう。

「スペシャルオリンピックス」はなぜ複数形？

『2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知』が、9月22~24日に愛知県で開催されました。さらに、2020年7月開催を前に皆さんの関心と期待の膨らむスポーツの祭典が「東京オリンピック」。なぜ「スペシャルオリンピックス」は、複数形なの？

「オリンピック」は、スポーツで最大の国際競技大会で、国際オリンピック委員会(IOC)が主催しています。そのIOCが「オリンピック」という名称の使用を許可しているのは、

「パラリンピック」…運動機能障がいや視覚障がいなどをもち選手が参加

「デフリンピック」…聴覚障がいをもつ選手が参加

「スペシャルオリンピックス」(SO)…知的障がいをもつアスリートが参加

※90では、スポーツ活動に参加する知的障害のある人たちを「アスリート」と呼んでいます。

「オリンピック」、「パラリンピック」、「デフリンピック」は4年ごとに開催される国際大会の名称ですが、「スペシャルオリンピックス」は年間をとおして多くの競技で行われているトレーニング、その成果の発表の場である競技会や記録会、4年ごとに開かれるナショナルゲーム(全国大会)と世界大会のすべてを総称しているため、「スペシャルオリンピックス」と複数形なのです。

<目次>

- P 1 .. ご挨拶
- P 2 .. 【特集】
- SON夏季ナショナルゲーム
- P 4 .. 愛知
- P 5 .. SON・岩手
- 2018地区大会・記録会
- P 6 .. ボッチャ交流会
- ファミリー交流会
- P 7 .. 事務局・各委員会より
- P 8 .. 2019プログラム活動予定
- 2018寄付者一覧



2018年第7回スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲーム・愛知 開催！

9月22日(土)～24日(月・祝)

「2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」が、9月22日(土)～24日(月・祝)の3日間愛知県で開催され、SON・岩手から陸上競技3名、競泳2名のアスリート、団長、各競技のヘッドコーチ、追加スタッフの合計9名が参加しました。

団長 岩淵 昌文さん	陸上競技 アスリート	西條 良樹さん	競泳 アスリート	昆野 朔さん
		吉田 拓真さん		佐々木 陽右さん
		和田 晃さん	ヘッドコーチ	佐々木 秀治さん
		阿部 均さん	追加スタッフ	岩脇 賢太さん

「2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」の 選手団壮行会、大会、報告会のレポートです！

2018.9.2(日) 選手団壮行会 (SON・岩手事務局)

アスリートが、トレーニングの成果を遺憾なく発揮し全力を出し切ることができるように、壮行会が開かれました。また、アスリートたちに岩手から愛知へ届けようと、応援メッセージが寄せられた旗が選手団に贈られました。



アスリートの抱負

和田さん…最後まで諦めないで走り切ります！

吉田さん…頑張ります！

西條さん…全力で頑張ります！

昆野さん…良い記録を出す事、他県の選手と交流を深める事です。

佐々木さん…自己ベストが出るよう頑張ります！

2018.9.22(土)大会 1日目 (日本ガイシホール)

ヘルシー・アスリート・プログラム (HAP/ハップ)

午前にはハップを受けました。ハップとは、アスリートの健康を増進し、競技会などで実力を最大限に発揮できるよう健診を行い、アスリート本人やコーチ、ファミリーに結果を伝えて、健康に対する意識や知識の啓蒙を行い、生活の質の向上を目指すプログラムです。身体の柔軟性やバランス、視力など6部門あります。

開会式



47都道府県の選手団が、堂々の入場行進を行い、有森裕子理事長とハイタッチをしました。岩手のアスリートたちも笑顔で応援席からの温かい声援と拍手に応えていました。

他県アスリート達と共に SON 旗を持ち入場した陸上競技出場の西條さんと阿部ヘッドコーチ。西條さんは、SON 旗を掲揚し有森裕子理事長に手渡す役も果たしました。



SON ドリームサポーターの森理世さん、安藤美姫さん、小塚崇彦さんらによるトーチランセレモニー、聖火点火、そして、アスリート宣言のあとはアトラクション。チームしゃちほこ(名古屋発5人組アイドル)、サンプラザ中野くんなどが出演。

中でもGRAYのTERUさんの「YOUR SONG」は、SON日本公式応援ソングとして制作してくださった曲です。岩手のアスリートたちも、ノリノリでテンションアップ！会場は大いに盛り上がりました。



2018.9.23(日)大会 2 日目予選～2018.9.24 (月)大会 3 日目決勝・閉会式

アスリート達は、疲労や緊張と闘いながらも精一杯頑張りました。結果、デビジョニング(*)により予選とは異なるグループに分けられたり、納得いかなかった予選のタイムを越えようと全力を尽くし、好タイムが出たものの、失格になるのではと不安になったりしました。しかし、それぞれの結果に満足や悔しさを残しながらも、晴れ晴れとした表情で表彰台に上がり、新たな今後の目標に歩みを進めようとしています。残念ながら閉会式は、帰路の飛行機の時間の都合で欠席しました。

(*)デビジョニング (グループ分け)

SONの競技会では、アスリートの可能性が最大限に発揮できるよう、デビジョニングを行います。「デビジョニング」とは、年齢、性別、競技能力の到達度などに応じてクラス分けすることですが、ほぼ同じ競技能力レベルで競いあうことにより、アスリートにとって最も効果的な競技環境を提供することができ、アスリート個々の成長を刺激することができると考えています。競技能力は、15%程度の範囲内で分けられます。SONの競技会で予選落ちはありません。予選はデビジョニングであり、競技会に出場したアスリートは全員決勝に進み、全員が表彰台に立ち表彰を受けます。全てのアスリートに勝利のチャンスが与えられるのです。また、オネスト・エフォートのルールにより決勝の記録または得点が予選よりも15%以上良かった場合(競技、種目によって%が異なる場合あり)、失格になることがあります。

<アスリートの感想>



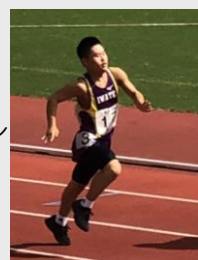
西條 良樹さん
陸上競技 5000m 銀メダル
公式記録 21 分 51 秒 60

陸上競技の 5000m に出場し銀メダルでしたが、時間がたつにつれて悔しさが増してきました。金メダルの三重のアスリートとも交流できて良かったです。3 日間良い経験をさせていただきました。それと、走る事だけでなく仕事も休まず、すぐには無理でしょうけど焦らずに一般就労をして、お世話になっている皆様に西條君 SO の全国大会に参加してから変わったと言ってもらえるように頑張りたいです。



和田 晃さん
陸上競技 100m 7 位
公式記録 17 秒 64

100mの予選は1位でした。自己新記録を出しました。コーチに「腕をふってね」と言われたので、がんばりました。決勝は、ぼくよりはよい人がいておいこしたかったけどだめでした。くやしいです。1位になりたかったけど、だめでした。くやしかったけど、コーチに「よかったよ」とほめられました。7 位だったからくやしいけど、またがんばります。みなさん応援ありがとうございます。



大会参加者人数

47 地区組織(47 都道府県)選手団(アスリート 996 名)大会関係者 419 名、ボランティア 3,801 名、観覧者数 3 日間延べ約 13,800 名。皆様との出会いとご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。(^o^)

大会参加者との交流

特に水泳競技の SON・山形の皆さんと友情を深めあうことができました。愛知大会でお会いした皆さんとの有意義な時間は、宝物となりました。今後もよろしく願いいたします!



SON・山形水泳競技参加の皆さんと



吉田 拓真さん
陸上競技 100m 銅メダル
公式記録 22 秒 89

名古屋に行ってきた。黄色と紫のユニフォームで 100m にでました。走るのを頑張りました。身体検査をして、ミッキーの袋をもらってうれしかったです。みんなとお泊りをして楽しかったです。



昆野 朔さん 競泳 25m 自由形
金メダル 公式記録 18 秒 62

僕は、この4日間を通して、他県の人達との交流を深めることが出来てとても楽しかったです。周りの人たちが、僕を一生懸命に支えてくれたおかげで、優勝することができました。4日間、本当にありがとうございました。



佐々木 陽右さん 競泳 50m 自由形
金メダル 公式記録 31 秒 53

私は、24 日の大会の 50m 自由形で金メダルを取りました。ベストタイムは出ませんでした。いい 3 日間だったと思います。マスターズの大会でも、ベストタイムを目指し頑張りたいと思います。そのためには、水泳と筋トレを今まで以上にがんばります。



<同行スタッフの感想>

団長 岩淵 昌文さん

今回、ナショナルゲーム愛知に SON・岩手選手団の団長として参加させていただき、選手団のコーチ・スタッフの中で、私だけが参加が初めてということで、すべてのことがとても新鮮で、充実した3日間を過ごさせていただきました。競技では、陸上競技のスタッフとして同行しました。陸上競技に参加した SON・岩手の3名のアスリート達は、全国から集まったアスリート達と一緒に走り、気後れすることなく全力を出すことができました。緊張の2日間を過ごした3名でしたが、競技を終えた後の充実感あふれる笑顔がとても印象的でした。



陸上競技阿部ヘッドコーチ

今回の大会は、私にとって想い出深い大会となりました。開会式で SON 旗の掲揚を、大会本部から岩手へ依頼があり、SON 旗を持ち入場行進をし、その旗を有森裕子理事長に壇上で手渡す内容でした。その SON 旗を手渡すアスリートの代表に岩手の西條良樹さんが突然の指名を受けました。陸上競技に参加した3人のアスリートは、いつもの練習以上に頑張ってくれました。中には、自己タイムを3秒以上縮め驚きました。宿では、アスリートが童謡を歌ってくれ、気分を和ませてくれ、和気あいあいと過ごすことができました。集団生活が、今では大変懐かしい思い出となっています。皆様ありがとうございました。



競技 佐々木ヘッドコーチ

選手みんな、本当にお疲れ様でした！そして、本当にありがとう。大会関係者様、ボランティアの田中様、助けていただきありがとうございました。居なかったら二人の金メダルはありませんでした。山形水泳チームの松村コーチ、貴女の明るさ元気は岩手チームの活力となりました。男しかないチームでしたが、両県選手の交流はとてもかけがえのない出会いでした。自分は、また新たな気持ちを頂きました。次の大会に向けて、できることに挑戦したいと思います。明日からまたやるべし。



競泳追加スタッフ岩臨さん

今回スタッフとして競泳の方に参加させていただきました。佐々木ヘッドコーチ、陽右君、朔君との4人での宿舎での短い生活。アスリート両名とも競技に備え、良い準備をしてくれました。タイトなスケジュールながらも結果を残してくれた事。他県のアスリートとコミュニケーションをとって親睦を深めた事。とても良い経験になったと思います。又、遠方ながら応援に来てくれたファミリーの皆様には、アスリートと感謝いたします。



お世話になったボランティアさん

暑い中、3日間お世話になりました！
本当にありがとうございました(´o`)



陸上競技のボランティアさん



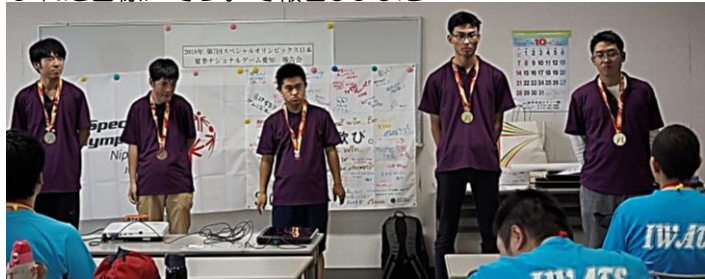
競泳のボランティアさん



無事花巻空港到着！皆さんお疲れ様でした！

報告会 2018.10.7(日)盛岡市立総合プール

SON・岩手地区大会 水泳競技の表彰式後、報告会が開かれました。アスリートたちは、大会の感想と大会後の新たにうまれた目標について報告しました。



<報告会参加ファミリーの皆さんの感想>



吉田さん…いつもどおりの走りを本番でもできて良かったです。
和田さん…3秒も練習より早く走る息子の姿に、ウルウルしました。

昆野さん…初めての参加でドキドキでした。ファミリーの皆さんとの楽しい交流の機会となりました。

佐々木さん…愛知大会に向けての練習等、自分で考え、決定し、実行する力が身についてきたように思います。

選手団の皆さんお疲れ様でした。
2年後は冬季大会。ファイト！

2019年スペシャルオリンピック夏季世界大会・アブダビ大会

2019年3月14日～3月21日にアラブ首長国連邦の首都アブダビで開催される「2019年スペシャルオリンピック夏季世界大会・アブダビ」に、日本選手団105名(アスリート67名、パートナー7名、コーチ22名、役員・スタッフ9名)が参加します。アスリートの皆さんが日頃のトレーニングの成果を発揮しベストをつくせるように、応援しましょう！

ユニファイドスポーツ(Unified Sports®)

ユニファイドスポーツとは、知的障害のある人(アスリート)と知的障害のない人(パートナー)で混合チームを作り練習や試合を行い、スポーツを通じてお互いに相手の個性を理解し合い支え合う関係を築いていく取組です。愛知大会ではボッチ(S.O.ボッチャ)、バドミントンのダブルスなどがおこなわれました。

2018年スペシャルオリンピック ユニファイドフットボールカップ・シカゴ presented by TOYOTA

2018年7月17日(火)～21日(土)にかけてイリノイ州シカゴの TOYOTA PARK で開催され、日本選手団は、ユニファイドスポーツ精神への深い理解を示したチームに贈られる“ユニファイド・チームメイト賞”を受賞しました。SON・岩手でユニファイドスポーツはまだ実施されていませんが、色々な形で障がいの垣根を越えた交流の輪が広がっていく事を願っています。

地区大会開会式・水泳競技会（実施日10月7日）

阿部 眞喜子 ヘッドコーチ

10月7日(日)、盛岡市総合プールを会場に第4回スペシャルオリンピックス日本・岩手地区大会開会式に引き続き、水泳競技会が行われました。

参加アスリートは例年より少なく、15名の参加で残念ではありましたが、競技役員を快くお引受け頂きました水泳連盟・盛岡市水泳協会・盛岡市体育協会の皆様のご協力により、アスリートは日頃の練習の成果を緊張した中でも十分に発揮することが出来ました。表彰式では、メダルを首にかけて貰った表情が誇らしげでした。大会に係わって下さいました皆様に感謝申し上げます。



陸上競技会（実施日10月14日）

阿部 均 ヘッドコーチ

例年、記録会で終了していましたが、今回は、アスリートの増加、ナショナルゲーム愛知が開催され、アスリートも3名出場したこともあり、ナショナルゲームに近い形式での陸上競技の競技会を実施しました。開催において一番ネックになったのが、審判をどうするかでした。幸いファミリーの中で、陸上競技の公認審判を持っている人がいて、競技会当日も参加できる承諾をいただき、競技会が実施出来るはこびとなりました。

競技会開催日は10月14日(日)、開催場所は県立大学陸上競技場（公認競技場）で行いました。参加アスリートは8名でした。10月の中旬なので、短時間で競技会が終るように参加種目を検討しました。100mとソフトボール投げはアスリート全員がエントリーし、50mと1,500mは希望アスリートが出場しました。競技会は、ファミリー・ボランティアの皆様の協力のもと、無事終了することができました。

競技会最後のお楽しみで、アスリート、ファミリー、ボランティア全員参加による『パン食い競争』を行い楽しい競技会となったことを報告します。



ボウリング競技会（実施日10月21日）

小野寺 弘純 ヘッドコーチ

ボウリング競技会は、10月21日(日)午前10時から盛岡市上堂一丁目のマッハランドを会場に開催されました。男子2人、女子3人の5人のアスリートが出場しました。学生ボランティアも4人参加していただきました。男子と女子の2組に分かれて3ゲームの合計得点でメダルを競い合いました。ストライクやスベアにはみんなでハイタッチして祝福し、表彰式では笑顔で検討をたたえ合いました。



ゴルフ記録会と活動の様子（実施日10月14日）

高橋 精一 ヘッドコーチ

ゴルフの活動をお知らせします。2018年は男子一名が新たに加わり、女子3名男子2名で5月からスタートしました。途中6月にはゴルフ実技コーチクリニックもあり改めてその楽しさを感じました。8回のプログラムを終え10月14日(日)、雲一つ無い好天のなか初めての記録会を実施しました。緊張しながらも力一杯結果を出し切り、各アスリートそれぞれ来年への目標が定まったように思います。



バスケットボール記録会と活動の様子（実施日9月23日）

菊池 昇 ヘッドコーチ

バスケットボール記録会は9月23日(日)に行われました。

バスケットボールは、大船渡・福祉の里を会場にプログラムを行っています。一番小さいアスリートは小学4年生。マイボール持参で参加しています。これからの成長が楽しみです。



河内コーチ、大高コーチありがとうございました。

盛岡市総合プールを会場に、競泳プログラムの活動へのご理解頂き、東日本大震災以前より水泳協会の河内さん、大高さんにアスリートへご指導頂いて参りました。

当初アスリートは、息継ぎが出来なかったり、ぎこちない泳法でした。それが現在ではスムーズに泳ぐ事が出来るようになりました。お二人のご指導の成果をアスリートもファミリーもとても喜んでます。アスリートへの理解、コミュニケーションもとても良くしていただきました。

楽しい活動でしたが、11月に職場異動、家庭の事情により、お二人のご指導を受けることが出来なくなりました。とても残念ですが、長年にわたりご指導ご支援頂き、心より深く感謝申し上げます。<ヘッドコーチ 阿部眞喜子>

ユニス・ケネディ・シュライバーデーイベント企画 2018年度 SON・岩手 ポッチャ交流会

スペシャルオリンピックス日本・岩手では、ユニス・ケネディ・シュライバーデー(*)に障がいのある人とない人が一緒にスポーツを通じて交流するイベントを企画しています。今年度は7月29日(日)10時より、仁王小学校体育館でポッチャ交流会を行いました。岩手大学・医療福祉専門学校の学生さんをはじめ東北電力、トヨタレンタリース岩手などの企業からも沢山のボランティアが参加してくださいました。仁王小学校の児童、岩手県教育委員会からのご来賓、そしてアスリート、ファミリー、運営委員、総勢60名が参加しました。アスリートとボランティアの皆さんは、ポッチャのゲーム以外にも、進行役やそれぞれ役割をもって活動に参加しました。ふれあいランドの佐々木秀治さんの指導のもと全員が真剣にプレーして、お互いに健闘を讃え合いながら笑顔が会場いっぱいに広がりました。ポッチャ交流会を毎年どんどん盛り上げて行く為に、全員表彰のほかに、今年度から決勝トーナメントで一位になったチームに優勝杯が授与されました。

*ユニス・ケネディ・シュライバーデーとは

スペシャルオリンピックスの創始者ユニス・ケネディ・シュライバー(没2009年8月11日)の功績を記念して、スペシャルオリンピックス国際本部では「Play Unified to Live Unified (共にスポーツし、共に生きる)」をテーマに、障害のある人とない人が共同で行う活動を展開している。



盛岡フランチ ファミリー交流会

9月17日(月・祝)紫波町にあるフルーツパークでファミリー交流会をしました。

27名の参加がありました。平野理事長とホームページ制作のボランティアをしていただいている大内さんも参加してくださいました。

午前中は、ミニゲーム(お玉スプーンに玉子をのせて運びリレーゲームと風船渡しゲーム)その後会食をしました。午後はブドウ狩りを楽しみました。

晴れた日に甘くて大粒のブドウを沢山いただきました。美味しくてのんびりとした素敵な時を過ごすことができました。

ありがとうございました。



＜アスリート感想＞

ブドウ狩りが楽しかった。ブドウも美味しかった。いっぱい食べました。

草薨・休石・近江・藤井・鶴原
佐々木(威)・住吉谷



＜アスリート感想＞

ゲームが楽しかった。お弁当もブドウも美味しかった。

漆原・海沼・菅原・田村

ビンゴゲームの景品が良かった。おつまみになります。楽しかったです。

ボランティア 大内 昭一さん

おにぎり弁当・ブドウ美味しかったです。ブドウ狩りは初めてで楽しかったです。祭りの音頭あげも楽しかったです。気持ちの良い場所でした。

平野 コキ子 理事長



お玉スプーンリレー



風船渡し



事務局・各委員会より

会員の皆様に、いずれかの委員会に所属していただきたいと願っています。ご協力お願いいたします！

SON・岩手 啓発活動

啓発活動のお陰でSON・岩手の活動が広がっています。



★7月12日(木)トヨタレンタリース岩手「福祉事業支援セミナー」に参加しました。活動について参加者に説明し、広く理解を求めました。

★5月15日(火)15:00～ JAPAN ASSURANCE FINANCIAL ADVISERの要請でSONについて講演しました。

★9月26日(水)花巻ロータリークラブ訪問。活動について説明をしました。

★12月11日(火)6:00am～ 一関倫理法人会のモーニングセミナーでSONについて講演しました。

★ライオンズクラブ広報誌にシリーズ掲載、「ライオンいわて」8月号に平野理事長が寄稿しました。

昨年、日本ライオンズクラブ様とスペシャルオリンピックス日本はパートナー契約を結んでおります。

そこでスペシャルオリンピックスを紹介するシリーズが始まりました。

★FM岩手放送「家族の絆」でアウンサーの小田加世子さんと一緒にスペシャルオリンピックスについて対談した様子が10月22日から6回放送されました。

SON・岩手からは平野理事長・佐々木ファミリー委員長・住吉谷広報委員長が出演しました。



スポーツプログラム委員会から

SON・岩手では、今年度も「競泳」「陸上競技」「ゴルフ」「バスケットボール」「ボウリング」の5競技のプログラムを実施しました。9月には、夏季ナショナルゲーム愛知大会が行われ、「競泳」「陸上競技」の2競技に、合計5名のアスリートが参加し、力を発揮してきました。次のナショナルゲームは、冬季ナショナルゲーム札幌大会が2020年に実施されることになっています。今後、SON・岩手では、札幌大会参加に向けて、冬季競技にも力を入れていきます。「アルペンスキー」「スノーシューイング」のコーチクリニックも予定しています。たくさんの方の参加をお願いします！

＜SP委員長 岩淵 昌文＞

*ゴルフコーチクリニックを6月10日(日)南部富士CCで行いました。SON・北海道の細谷 一博ローカトレナーにご指導をいただきました。ありがとうございました。

ボランティア委員会から

私どもは各種競技会運営のボランティアのほかに、アスリートたちの日々の練習のコーチとしてボランティアで参加していただいておりますが、コーチの人員が足りなくなっております。日頃のアスリートへのコーチをしたい、競技会のボランティアを経験してみたいという方は、お気軽にご連絡ください。

＜ボランティア委員長 吉田 光男＞

医療安全対策委員会から

7月末、EKSデーにちなんだボッチャ交流会は例年になく酷暑の中での開催となりました。参加者の熱中症が心配でしたが、ファミリーやボランティアの協力のもと扇風機3台と大量の水、経口補水液を会場となった仁王小学校体育館に持ち込み備えることができました。お陰様で熱中症になる人もなく、最後までボッチャを楽しむことができました。ご協力くださいました方々に感謝申し上げます。

4月末に行ったAED講習会は、救急救命士の方の貴重なお話を聞ける機会でもあります。今後は、ファミリーやボランティアだけではなく、学びの場としてアスリートも一緒に親子で参加してはどうかと考えております。

＜医療安全対策副委員長 小山田 あや子＞

ファミリー委員会から

今年は野外でのファミリー交流会をしました。お天気にも恵まれ楽しく終えることができました。

地区大会や競泳コーチの送別会のお手伝いも無事終えることができてよかったです。

＜ファミリー委員長 佐々木 さやか＞

財務委員会から

2018年度は間もなく終わることになりますが、財務委員会の計画的活動はほとんど無く、なりゆき任せに終始しました。これが通じるのもご理解ある多くの企業・団体・心ある個人の皆さんのお陰と感謝しているところです。

今年は加えて、北翔会でお世話になった平中洋一様が、仙台で新たにチャリティーイベントを立ち上げ高額な収益金を寄付され、又、ボランティアでも応援を頂いた、いわて労連大会においてSON・岩手の紹介と多額の活動助成金を頂戴するなど、SONへの温かい広がりが実感できるところまで来しました。次年度は応援して下さる皆様の期待に背くことが無いようにしっかり活動するつもりです。

＜副理事長 高橋 精一＞

広報委員会から

今年は愛知NGがありました。選手団やファミリーの皆様写真撮影などでご協力いただき、ありがとうございました。他にもSON・岩手のイベントや競技会で皆様にご協力いただきました。本当にありがとうございました。

今年はSON・岩手のホームページが開設されました。スマイル10号をはじめ、今後発信されるものには、URL: <http://son-iwate.or.jp/> とアドレスを記載します。時間のあるときにどうぞ開いてみてください。

そのSON・岩手のHPを作った方を紹介します。



【大内 昭一さん】

今年の春先からSON・岩手のHP作成にご尽力いただいております。お忙しい中、すべてボランティアで作成していただいております。ありがとうございます。紫波町在住の方です。

*広報委員会では、広報活動に伴うお便りや広報誌の発送作業をお手伝いしていただける方を募集しています。

＜広報委員長 住吉谷 文子＞

○2019年度SON・岩手 プログラム活動予定と募集について

競泳	競泳	競泳	競泳	陸上競技	バスケット	ボウリング	ゴルフ
大船渡市 Y・Sセンター	陸前高田市 B&G海洋 センター(※)	盛岡市立 総合プール	ふれあい ランド岩手	ふれあいラ ンド岩手、他	大船渡市 福祉の里 センター	盛岡 スターレーン	サンゴルフ 松園、他
第2、4 水曜日	第2、4 水曜日	土曜不定期 別途連絡	第2、4 日曜日	5月～10月 日曜不定期	第2、4 日曜日	第1、3 日曜日	5月～10月 別途連絡
18:00～20:00	18:00～20:00	16:00～18:00	13:00～15:00 14:00～16:00	10:00～12:00	13:00～15:00	10:00～12:00	10:00～12:00

2019冬季プログラムの予定

アルペンスキー・スノーボード・スノーシューイン
グのプログラム実施を予定しています。

実 施 日・・・2019年 1月～ 2月
土・日・祝日のいずれかに実施予定

時 間・・・10：00～15：00(集合9：30)

場 所・・・下倉スキー場、他

用 意・・・リフト代(リフト使用時)

装 束・・・ウエア、用具
(スノーシューは貸し出し可能)

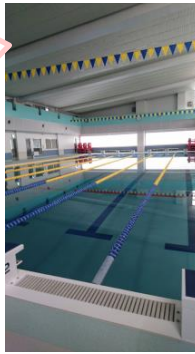
* 詳細は事務局にお問い合わせください。



(※) 新しく完成した陸前高田市B&G(愛称：夢
アリーナ) 泳いだ後は、ジャグジー・サウナ。
ファミリーはケアも必須です。(笑)
アスリートの笑顔は、ファミリーの栄養！ボラ
ンティアのお兄さんの力を借りて、楽しくプロ
グラムを継続していきたいです。

***プログラム参加希望または詳細内容を知りたい方は、
事務局までご連絡ください。**

***スポーツコーチ・ボランティアとしてアスリートと
スポーツを楽しんで頂ける方を随時募集しています。**
スポーツの苦手な方でもアスリートのお世話や必要
補助をしてくれる方大歓迎です。
(問い合わせ：SON・岩手事務局)



スペシャルオリンピックス(so)は非営利活動で、運営は「ボランティアと善意の寄付」によっておこなわれています

連合岩手様より、2018年度「連合・愛のカンパ」の取り組みの中で、SON・岩手の活動や内容が認められ、**20万円の助成金を頂くことができました。**ありがとうございました。

「連合・愛のカンパ」は、人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向け、社会貢献活動として取り組むものであり、NGO・NPO団体等の事業・プログラムへの支援、および自然災害などによる被害者に対する支援を目的とするものである

* スペシャルオリンピックス日本・岩手をご支援頂いている皆様 (2017年1月～2018年11月受付分) *

**みちのくコカコーラボトリング(株)、岩手トヨペット(株)、
岩館電気(株)、オーエム通商(株)、(株)高光建設、
(株)トヨタレンタリース岩手、吉田 等明
ハムステッドティールーム、富士ゼロックス岩手(株)、
いわて生活協同組合、(株)三星商会、盛岡ニッタン(株)**

(有)渥美工務店、(株)泉商店、(株)岩手朝日テレビ、(株)キムラ、(株)高建重機、東北電力(株)岩手支店、
(株)中原商店、盛岡ガス(株)、(株)モリレイ、吉村 彰悟・智恵、菱和建設(株)、盛岡ターミナルビル(株)、
小林 一、島田 邦守、(株)岩手日報社、(株)岩手めんこいテレビ、東北住建(株)、徳清倉庫(株)、
東北電力労組岩手県本部、国際ソロプチミスト盛岡、盛岡ライオンズクラブ、三寿司、
(有)岩手自動車電機、盛岡ゾンタクラブ、盛岡パイロットクラブ、あいおいニッセイ同和損保保険(株)、
ソニックジャパン(株)、R i t a 税理士法人、大伸工業(株)、I B C 岩手放送(株)、大沢英夫、大久保弘

稲荷場 裕、熊谷 紀子、野田 武則、畠山 ひとみ、村井 研一郎、米澤 利次、富塚 ツヤ子、鈴木 礼子、達下 雅一、
伊藤 悦子、内館 政光、花柳 美寿晴、荒川 真知子、尾形 兵吉、佐々木 和彦、吉村 玲子、斎藤 収、三浦 志津子、
吉田 長美、高橋 貴子、佐藤 優美子、佐藤 薫、山本 京子、佐藤 由美子、佐藤 雅美、佐藤 香、鍋 由美子、
吉野 千登勢、吉村 正博、吉村 綱起、佐藤 淳子、赤坂 國彦、国分 牧子、松川 顕、長葭 千恵子、小野寺 耐子、
中田 廉平、川村 陽子、豊巻 弘道、日山 健一、岡村 房子、辻 裕子、隅田 清、田中 大作
(以上、敬称略 順不同)

* 期間内に入会された方でも事務処理上の理由で、お名前の掲載が遅れることがありますことをご了承ください

皆様との出会いに心から感謝いたします。心温まるご支援、ご協賛を賜りました団体及び個人の皆様には厚く御礼申し上げます。
これからも何卒よろしくお願いいたします。



* ニュースレターの印刷は富士ゼロックス岩手(株)のご協力を頂きました。

*** 問い合わせ先 ***

〒020-0085 岩手県盛岡市紺屋町4-24

Tel/Fax : 019-613-5277

URL : <http://son-iwate.or.jp/>

E-mail : son_iwate@son.or.jp

火曜日と金曜日 10:00～15:00 在局

NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・岩手 事務局